

クリスマス会

12月19日開催

木更津高校マンドリン部生徒さんの演奏から幕を開け、利用者さんは勿論、その場にいる人達全員が聞き惚れてしまうほどの素晴らしい演奏でした。職員による初めてのパネルシアターはとても新鮮で楽しく、分かりやすく『来年もやって欲しい』と言う声もありました。久しぶりの和太鼓の演奏はプロ顔負けの腕前に手を叩いて喜んでいる利用者さん、演技や音の迫力が凄いと驚いている利用者さんも沢山いました。

今年度は異動職員によるショウタイムが披露されました。水戸黄門の旅をおもしろくアレンジし、その場に居る方も参加し御老公様が成敗と言う事でわさび入りのシユークリームを食べさせたり、熱いおでんを二人羽織で食べさせるなど身体を張った企画でした。そして今年度は各ホームの装飾に力を入れ、とても綺麗なホームの中で食事を美味しく食べる事が出来ました。

クリスマスプレゼントは、施設長サンタと課長サンタから受け取り利用者さんは笑顔一杯でした。賑やかで楽しいクリスマス会になりました。

上総あいらいの郷 藤井 智章



吹く詩の宴

12月23日開催



今回『多世代・多人種交流 THE 人間の集い』をテーマに掲げ、木更津駅前の交流スペースで行いました。

毎年恒例のダルク（薬物依存者のリハビリ施設）によるエイサーと呼ばれる琉球太鼓の演奏は迫力があるのはもちろんのことだが、当事者の方の薬物依存から現在に至るまでの体験談は驚く内容ばかりでした。過去の自分の行いを反省し、自分自身を取り戻そうと必死で仲間と支えあって生きようとしている姿に感動しました。

また『こわれ者の祭典』からは複数の精神疾患を抱えながらもありのままの自分を表現するKaccoさんや近隣福祉関係者によるパフォーマンスは笑いと、真剣に聞き入る場面もあり、会場みんなが一体となり有意義な時間を共有することができました。

次回は吹く詩の宴も10周年を迎え、より一層賑やかな宴になると思います。皆さん足を運んでみてはいかがでしょうか？

上総ゆうゆうの郷 溝口 直樹

